

横山お不動さん帰郷

大修復終え2年ぶりに



2年ぶりに不動堂に安置された不動明王坐像。復活した姿は、4月25～29日に行われる横山不動尊「慶祝法要、春季大祭典」でも披露されます

東日本大震災で損傷した津山町の横山不動尊「不動明王座像」が京都での修復を終え、2年ぶりに帰郷しました。



校歌に横山不動尊にちなんだ歌詞が使われている横山小の児童たちも開眼式に出席。帰郷を祝いました

国指定重要文化財にもなっている不動明王座像は、震災で右腕の肘や肩の継ぎ目部分が損傷。平成24年1月から京都の美術院国宝修理所で修復作業が進められていました。

坐像の修復は昨年10月に終わり、11月から本年1月まで東北歴史博物館(多賀城市)に展示。3月4日には2年ぶりに横山不動尊に戻りました。6日には坐像に魂を入れる「還座開眼式」が行われ、地域住民や関係者ら約1500人が出席して「横山お不動さん」の復活を喜びました。

道の駅と災害協定

食料・支援物資の提供

市では、市内4カ所(津山・米山・東和・南方)にある「道の駅」関係者でつくる「登米道の駅連絡会」と、災害時応援協定を結びました。

協定には、大規模災害が発生した場合、道の駅が避難者への食料や飲料水などの提供、道路情報や被災情報などを発信するほか、防災関係機

関の活動拠点として場所を提供することも盛り込まれています。

2月17日に市役所で行われた協定式では、四つの道の駅代表者と布施孝尚市長が協定書に署名。布施市長は「道の駅は災害時に物流拠点となり、食料供給にも大きな役割を果たす」と述べました。

災害時応援協定締結式



協定書に署名後、がっちり握手を交わす布施市長(中央)と四つの道の駅代表者

新体育館で卒業式

石越中生48人が巣立ち

卒業シーズンの3月、市内の小中学校でそれぞれ卒業式が行われました。3月8日は市内中学校の卒業式。石越中学校では、卒業生48人が完成したばかりの新体育館で、巣立ちの時を迎えました。

同中の3年生は震災直後に入学した生徒たちです。震災で校舎が使用不能となり、入

学後は、旧上沼小学校、そして石越総合運動公園に建てられた仮設校舎で3年間を過ごすことに。卒業式は、新校舎に先駆け完成した新体育館で迎えることができました。

今年、市内の小中学校を卒業したのは、小学校22校で767人、中学校10校で751人となります。



新しい体育館で、石越中の佐藤健美校長から一人一人卒業証書を受け取る卒業生

目標達成の極意語る

水泳・萩原さん招き講演会

市と市教育委員会、市体育協会では3月12日、市スポーツ講演会を開催しました。講師は、元水泳競技日本代表として活躍し「ハギトモ」の愛称で親しまれた萩原智子さん。会場の中田農村環境改善センターには、市民ら約130人が集まりました。「目標達成の極意」を克己心

と題して講演した萩原さんは、水泳との出会いや引退から5年後に復帰、大病を患いながら五輪を目指した体験などを話しました。「目標達成のためには願望ではなく、強い覚悟が必要」と述べ、ピンチの時こそ自分が成長するチャンス。感謝と素直な心が大切です」と強調しました。



「優しくて強い人が勝てる。優しさのシンボルマークである笑顔を大切に」と会場の参加者に語りかける萩原さん

社会の力で「志」教育

登米中学校区の実践発表



大勢の参加者が見守る中、「インターンシップへの取り組み」を発表する登米高の生徒

県教育委員会から平成25年度「みやぎの志(こころざし)教育」推進地区に指定された登米小と登米中、登米高の登

米中学校区3校が2月14日、実践事例発表会を開きました。「みやぎの志教育」は、小、中、高の全時期を通じ、人や社会と関わる中で社会性や勤労観を養い、より良い生き方を主体的に求めさせていこうというものです。

会場の登米小には、市内小、中、高校の教諭と児童生徒、地域住民、県内の教育関係者など約300人が参加。「歴史と文化の町・登米、未来へつなぐ志」をテーマに、各校の教員や生徒がそれぞれの取り組みを発表しました。



富士レビオ側に贈られた記念の盾は本市の間伐材を活用したオリジナルのもの(写真左が布施市長、右が及川組合長)

市有林J・VER購入

富士レビオ(株)に盾贈呈

J・VER(ジェイ・バー)制度は、温室効果ガスの排出削減・吸収を行う活動を認証し、削減・吸収量をクレジットとして発行する環境省運営の制度。クレジットは、企業などの排出量を埋め合わせするカーボン・オフセットを行うため市場取引されています。市では、間伐を実施した市

有林の二酸化炭素吸収量の認証を得て、本県市町村有林で初めてクレジットを取得・販売しています。1月30日には、本市と米川生産森林組合のクレジットを購入した東京の富士レビオ(株)を布施孝尚市長と及川光雄組合長が訪れ、感謝の気持ちを込めた記念の盾を贈呈しました。



発表会に先立ち、小、中、高生の交流学習も行われました